

令和7年度 第4回教育委員会会議録

日 時 令和7年7月28日（月） 10時00分～10時50分

場 所 教育委員会 3階会議室

議 題

報告事項

- （1）令和7年度尾鷲市奨学金貸与希望者追加募集の結果について
- （2）名古屋市の教員逮捕案件に係る本市での取組について

審議事項

- （1）尾鷲市指定文化財の解除について

出 席 者

教育長	田中 利保
委員（職務代理者）	内山 善嗣
委員	北裏 佳代
委員	榎本 加奈子

欠 席 者

委員	米倉 すが
----	-------

出席事務局職員

教育総務課長	柳田 幸嗣
教育総務課調整監	渡邊 史次
生涯学習課長	世古 基次
教育総務課主幹兼総務係長	柳瀬 誠

10時00分 開会

教育長：おはようございます。傍聴希望の方がみえていますので、入室を許可してよろしいでしょうか。では、お願いします。只今から令和7年度第4回教育委員会を開催します。急用のためD委員は欠席ということでお願いします。会議の前に、少し水泳指導についてお話ししたいと思います。皆さんも今回、いろいろなところで水泳指導についての話を聞かれたのではないのでしょうか。中学校で水泳指導をしないという自治体が少し増えてきたようです。学習指導要領では、小学校全学年と中学校2年生までは実地で指導することになっています。ただし、適当な水泳場がない場合は、座学でも良いとされているようです。それを受けて、中学校で実地指導せず、座学で危険防止だけをする学校が今回大きく取り上げられて、多くの学校が水泳指導をしないことを表明しました。なぜ今までやっていたのをなくすかという3点ありまして、施設プールの老朽化、水泳指導における見学者の増加、熱中症の3点です。水温と気温を足して65℃以上になった場合、水泳指導は中止となることが何回も出てきています。大きく分けて、この3点が、今回水泳指導をしないということになった原因のようです。尾鷲市はどうかと言うと、もちろん学校のプールの老朽化は否めません。かなり古くなっているのは確かですが、補修をしながら何とかやりくりしているところです。見学者の多さは中学校では顕著です。例えば輪内中学校では男女一緒に水泳指導をしていますが、尾鷲中学校では男女で分けているそうです。男子が水泳指導の時に女子は体育館でバスケットボールといった授業になります。そうすると、異性に対しての肌の露出は少し回避されるのですが、学校体制が非常に難しくなって、水泳指導する先生とバスケットを教える先生が必要になり、大変になります。体育指導員は3人いるので、なんとかやりくりしているんですが、大変そうです。水泳指導をしない学校が増えている状況に関して、スポーツ庁の長官は自治体の判断に対し、水泳指導は座学ではなく実地で行うようにしてほしいというコメントを出しています。プールを持たない学校が各地にあるそうです。熊野の先生は尾鷲の中学校にプールがあることに驚くそうですし、伊勢や南勢地区でも水泳指導をほとんどやらないそうです。僕らの子ども時代は、賀田の古川をせき止めてそこで水泳指導をしていました。水泳指導という言葉でいいのか分かりませんが、川で泳げるので楽しかったですね。そのた

めに親も協力して、業者も協力して川をせき止めて、ただ、川なので下がガタガタしていて、プールのような指導というわけにはいきませんが、それで水泳を教えてもらったということがあったりして、僕らにとっては大変楽しい水泳指導でしたね。子どもたちも本当に喜んでいました。中には、どうしても泳げなくてつらい思いをする子どももいます。だから、泳げない子をなくすということで、しっかりと水泳指導をしていたということです。現在、新築の学校は、ほぼプールがないそうです。6、7月の一時期しか使わずに、あとはずっと維持しないといけません。ポンプが故障してしまったら、修理しないといけませんから、自治体としては大変な負担になることは確かです。でも、僕らは、水泳はただ技能を身につけるということじゃなく、一番大切なのは命を守る指導だと、命を守る水泳だということで、先輩からも教えてもらいました。命を守るということで、僕らも一生懸命、自己流でしたが、いっぱい資料を読んで、ビデオを見て、「こうしたら浮いていく」とか「こうしたら前へ進める」というあたりを勉強したものです。だから、水泳指導でいくら泳げてもこれは完璧ではありません。やはりそれを終えた上に、実際の自然の中で泳ぐ経験も必要です。そこまで言うと、学校で教えるか、親が連れて行くか、ということになりますが、そういうこととして初めて命を守る水泳につながるのかなと思います。スイミングスクールへの送迎をしている自治体もあります。バスを貸し切って子どもをスイミングスクールへ送り出し、専門のコーチに教えてもらうということです。尾鷲にはスイミングスクールがないですから、それはできません。僕は水泳指導には非常に力を入れてやっていました。泳げない子どもが1シーズンで泳げるようになった時の自信というのはすごいんですね。それを手助けする先生と子どもの距離感がものすごく近くなって、教師と子どもの信頼関係も生まれます。専門のコーチに任せたら素晴らしい水泳になるかもしれませんが、そこに教師と生徒の間の関係性も無くなってしまうのかな、という危惧もあります。泳げなかった子どもをたくさん泳げるようにしましたからね。その辺りは大事なのかなと思いました。それから、水泳指導を止める自治体は中学校で水泳指導がないのだから、小学校のうちに25メートルを泳げるように指導を強化します。つまり、小学校のうちに「カナヅチ」をなくす、ということを表示しているようです。それは私も賛成で、小学校の水泳指導はやはり低学年の水遊びから水に慣れさせて、水遊びなどしながら「人は浮くんだよ」という体験

をさせ、それから今度はそれを前へ進ませるという体験、それだけでは息が持ちませんから、息継ぎの練習。この3つの段階を経てやっと泳げるようになるものです。6年生になって泳げない子どもを泳がせるようにするのは大変ですから、それを1年生から3年生ぐらいまで、特に低学年のうちに教えるということが大事だと思っています。コロナ禍で子供たちの泳力がものすごく落ちていて、今の6年生もちょうどコロナ禍に先ほど言った低学年の時期を過ごしましたから、6年生になってもなかなか泳げない子どももいます。今年は水泳指導を見ましたけど、6年生でこの段階の指導をしているのかと思ったので、やはり泳力が落ちているというのは感じました。もう一つ気になるのは、それを教える教師たちが、その2年～4年ぐらいの間水泳指導をしていなかったということで、浮くコツというか、そのあたりをいろいろなバリエーションをつけて教えていく先生の技量も低下しているように思えて、そのあたりも危惧されるところです。尾鷲は近くに川と海があるので、絶対に水泳指導はなくしたくないです。プールの補修も大変ですが、施設がある限り水泳指導は続けていきたいと思います。昨年、何回も言いましたが、高知県で小学校4年生の子どもが中学校のプールで溺れた事故がありました。監視する人数を増やすなど、監視体制をしっかりとやってくれるということは指示を出しています。それから、教師の指導力の向上ということで、そのあたりでは講習会などを開催して、教師の指導力を高めることも必要なのかなと思います。それから、熱中症対策ですが、ラッシュガードですよ。宮之上小学校は今年、水泳指導の開始を3週間早めました。そのためにテレビの取材が3社ぐらい来て全国放送もされたそうです。3週間早かったので、相当寒かっただろうなと思うんですけども、雨で1週間遅れて、実質2週間、他の学校よりも水泳指導を早く終えたので、熱中症が心配される時期が少なくなったということです。各学校で指導時間が5時間か7時間ぐらいしないとなかなか評価するのも難しいなと思いますが、宮之上小学校は10時間超えたそうで、それぐらいの水泳指導ができたそうです。この例に倣って、来年は水泳指導を少し早める学校も出てくるのではないかなと思っています。このように、今年はプールのことについて、ネットでも情報が出ており賛否両論ありますが、泳ぎは自然に身につくものではないので、水泳指導はやはり必要で、小さいうちにしっかりとそのへんを指導していくというのが大事だと思います。それから、どこの学校も最後の方に着衣水泳というの

をやります。これもやはりやっておく必要があると思います。普通の服を着ていて、何かの事故で水に落ちるということもありますから。泳げる子どもでも、服を着ていると慌ててしまって溺れるということがあるので、その時に慌てないということが一番大事なんです。ただ、海上保安庁のほうも働き方改革ということで、来てもらえない学校がありました。来年からは行けるかどうか分かりませんとも言われたそうです。全ての学校を回ってもらおうと思ったら大変ですので、教師を対象に講習会みたいな形でやってもらって、教師がまたそれを学校で指導できたらいいので、そのあたりも必要なのかなと思いました。今年の水泳指導は事故なく終わって、夏休みの心配はありますが、学校としても水泳指導はどうあるべきかをしっかり考えてみる良い機会になったのかなと思って、先日の校長会でこの話をして、ぜひ来年に向けての対策も取っていこうという話をしました。少し長くなりましたが、前段でちょっと水泳指導の話をさせていただきました。では、会議に入りたいと思います。前回会議録署名委員はA委員とB委員でした。今回会議録署名委員はB委員とC委員ということで、よろしくお願いします。事項書4の教育長報告をさせていただきます。

【主な教育長報告】

- 6月18日（水）全員協議会
- 6月18日（水）尾鷲市少年指導員の会総会
- 6月19日（木）世代間交流「ミニ運動会」
- 6月19日（木）三重大学教育学部長訪問
- 6月20日（金）第2回尾鷲市議会臨時会
- 6月20日（金）D委員 三重県教科書採択委員会出席
- 6月22日（日）尾鷲市関係機関合同災害対処訓練
- 6月24日（火）全員協議会
- 6月26日（木）岐阜県池田町教育長来庁（防災教育関係）
- 6月27日（金）尾鷲市民文化会館評議員会
- 6月28日（土）三重県教職員組合東紀州支部定期大会
- 7月 1日（火）第2回尾鷲市議会定例会開会
- 7月 1日（火）社会を明るくする運動街頭啓発活動
- 7月 2日（水）交通安全対策協議会総会
- 7月 2日（水）第2回市町等教育長会議（津市）
- 7月 2日（水）第2回GIGAスクール構想推進協議会（津）
- 7月 7日（月）D委員ひのきっこ子ども園一日園長

7月 8日（火）一般質問（野田議員）
7月10日（木）行政常任委員会（生涯学習課）
7月10日（木）青少年育成会議総会
7月13日（日）オープンウォータースイミング
三重オープン2025おわせ
7月15日（火）第2回尾鷲市議会定例会閉会
7月16日（水）校長会
7月18日（金）学校終業式
7月25日（金）天満荘 夜しゃべ
7月27日（日）海軍熊野灘部隊戦没者慰霊祭

教育長報告について何かありましたらお願いします。ないようですので、次に事項書5の報告事項に入ります。事務局から説明をお願いします。

事務局：報告事項（1）について、資料1をご覧ください。資料1をご覧ください。令和7年度の尾鷲市奨学金の追加募集の結果についてです。6月16日から7月11日までで追加募集させていただきましたが、応募者はいませんでした。予算は11名分318万円になりますが、当初の募集で3名採用決定しまして、228万円ほど予算が余りましたので追加募集を実施しましたが、応募者がなかったということで、令和7年度の採用者は3名で確定いたしました。報告は以上です。

教育長：はい。去年もそうでしたが、2回応募をかけて、そこで応募がなかったらそこまでということになっています。今回もなかったようです。令和7年度は3名の採用という事になりました。よろしいでしょうか。では、次に報告事項（2）に入ります。皆さんもニュースでご覧になったと思いますが、名古屋市を中心とした教員の不祥事ですね。主幹教諭なので、ナンバー3の先生だったそうですね。保護者からの信頼も厚かったとのことですが、盗撮した画像を教員仲間のグループでSNSを通じて共有していたという、本当に言語道断の事件が発覚しまして、今3人くらい逮捕されています。中には教員じゃないところとも共有していたという形跡が出てきたりとか、これとは関係ないところでもいろいろ出てきました。法令順守の前に、教員として子どもを健全に成長させていく手助けをしていく教員がそのようなことをするというのは本当に言語道断で、教員を志望しようという子どもたちの気持ちを削ぐような行動ですね。尾鷲でもそのようなことがないように、この前の教育長会議では、県の福永教

育長が、10名くらいの内の3名が愛知県とか横浜の教員で、残り7名の中に三重県が入っていないよう祈るような気持ちですということを書いていました。資料2をご覧ください。教師が児童生徒等を盗撮し、画像などSNS上の教師間のグループで共有して逮捕された事案について、7月1日付で文部科学省のほうから指示が出ました。とんでもないことなので、各学校で盗撮防止をやってくれということで、このような通知が来ました。下のほうのアンダーラインの箇所ですが、盗撮防止にあたっては、教室やトイレ、更衣室等の定期的な点検を行うことや、教室等を常に整理整頓し、カメラ等を設置できないような環境にしていくことが重要ということです、死角ですね。カメラが隠れていてもそれに気づかないようではいけないので、そのような場所がないかどうかということですね。校長会では、この辺りは特に夏休みに入ったら誰も来ないので、その時にやはり管理職がトイレとかに死角はないか、カメラを設置できる場所がないかどうかをしっかりと確認するように指示しました。もう一つは、その教員はナンバー3なのでいろんな学校行事で撮影して保護者に出す役割だったので、堂々と写真を撮っていたわけですね。その点では、そういう役割の人がそのようなことをしてしまったということでもとてもつらい話なんですね。どうしても僕らは学校行事等でいろんなことを撮影して保護者に発信して広めたいわけですね。その点で撮影するということはとても大事で、文章だけではなかなか伝わらないところに画像があるとわかりやすいということでやっていた。そのあたりのちょっとした隙間を狙っての事件になっているので、今、私もスマートフォンを持っていますが、ものすごく自由に使えるし、画質もとてもいいので、ついつい先生方もスマートフォンで撮ってしまうんですね。これはもう絶対やめてくれと。この行事では誰が責任者だから、誰が撮影をするというのをちゃんと決めてくれと。色々な先生が運動会でも色々なものを撮るんですね。そうじゃなくて、この運動会は誰々で誰々がしっかりと撮るというように制限を加えてくれと。誰でも撮れるというのは止めてくださいということを校長会でも指示をして、撮ったらすぐにパソコンに転送して、カメラからは削除してもらうということで。誰でも簡単に撮れるということではなくて、この行事については誰と誰が撮影をするということをちゃんと明確にした上で撮影してもらわないと、抜かりが出てしまいます。それにしてもね、どんなことでもやろうと思ったらやれますが、その辺の制限を加えておかないといけ

ないので、その話をさせてもらいました。文部科学省の通知を受けて7月3日に、三重県の方からすぐに指示が来ました。「緊急調査を行う」ということで、3日に通知が来て、9日までの間に実施して報告しろということでした。内容的にはいくつかあるのですが、1つ目は「学校生活の中で着替えを行う際に男女別に分けていますか」とか、「男子の着替えの場所はどこですか」「教室ですか」「更衣室ですか」「その他ですか」とか。女子の場合もそうですね。それから、2つ目は、水泳指導の際は「水泳授業は実施していますか」というところから入って、「着替えを行う時は男女別にしていますか」低学年の場合は混合でやる場合もありますから、そのような質問から、それから「場所はどこでやっていますか」という質問、3つ目は「部活動の際にどのような配慮をしていますか」という質問。それから、4つ目は学校行事、「運動会等の着替えはどうしていますか」という質問、最後に「学校の敷地内に防犯カメラは設置していますか」という質問や、「盗撮防止のために、各学校でどんな対策をやっていますか」というような内容の緊急調査でした。これについては学校長が回答することになっていましたので、9日までの短い期間で学校長がWeb上で回答して報告しました。これについては近々集計してその結果が回ってくると思います。それから、2学期になってから、児童生徒に対する調査も実施するようです。それでなくても学校はブラック企業みないに本当にイメージが悪い中、採用試験の方も受験者がずっと少なくなって、今回は1ヶ月早めて6月に始めて、まだ集計は出ていませんが、やはり受験者数が減っているということで、倍率も非常に低くなっているようです。難しい状況の中、なお一層このように学校・教員のイメージを悪くするようなことがあって、ごく一部の人なのですが、みんなに影響が出てくるということをしつかりと考えた上でやってもらわないといけませんので、そのようなことが出ておりましたので、尾鷲市もこれについてしっかりと取り組んでいくということで、今日は皆さんにご報告させてもらいました。これについて何かありましたら。

A委員：文部科学省からの通知と県教委の調査があつて、これを踏まえて指導とか、通知とか、何かしたんですか。

教育長：校長会で指示して、点検等をするように指示は出しましたが、文書での通知まではやっていませんね。

A委員：市町によっては保護者向けに文書を出したりしているので、ちょっと聞きたかったです。

教育長：わかりました。８月に集計の結果が出たあたりで、通知が必要だと判断した場合は出していきたいと思います。これは本当に大きなこととして捉えてもらわないといけないのでね。そのようなことも必要なのかなとは思いますが。ほかによろしいでしょうか。では、これで報告事項を終わります。次に事項書６、審議事項に入りますので、傍聴の方はここでご退席をお願いします。

報道退席

【秘密会】

【全件承認】

教育長：ありがとうございました。では、その後の手続のほうをお願いします。これで審議事項を終わります。次に事項書７その他で何かありますか。なければ、その他の項を終わります。事項書８の次回日程についてお願いします。

【日程調整】

教育長：では、次回は８月２０日（水）午前１０時からとちのもり保育園視察、その後賀田小学校にて第５回教育委員会の開催ということでお願いします。では、これで第４回教育委員会を閉じます。ありがとうございました。

１０時５０分 閉会